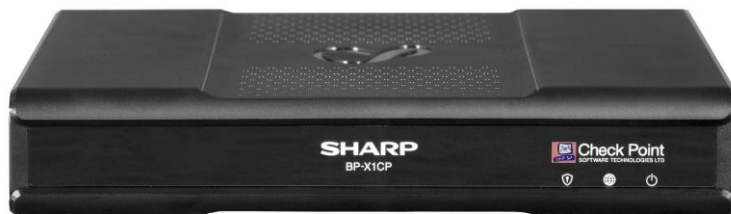


オフィスで求められる7つのゲートウェイセキュリティ対策機能を一台に集約し  
中小企業におけるセキュリティシステムの導入から運用・管理までの一連業務を効率化

## UTM（Unified Threat Management・統合脅威管理）2機種を発売



UTM（統合脅威管理）＜BP-X1CPシリーズ＞

シャープは、オフィスのネットワークセキュリティを統合的に管理するUTM（Unified Threat Management・統合脅威管理）2機種を発売します。オフィスで求められるゲートウェイセキュリティ対策機能を一台に集約し、中小企業におけるセキュリティシステムの導入から運用・管理までの一連業務の効率化を支援します。

本機は、「ファイアウォール」、「IPS（侵入防御システム）」、「アンチウイルス」、「アンチスパム」、「URLフィルタリング」、「アプリケーション制御」、「アンチボット」の7種類のセキュリティ対策機能を搭載。一台でさまざまなネットワーク上の脅威<sup>※1</sup>に対応できるので、複数のセキュリティ対策サービスやハードウェアを個別に導入する手間やコストを削減し、日々の運用・管理の一元化を実現します。ベースエンジンは、サイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーであるチェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ社<sup>※2</sup>製を採用。強力なセキュリティ対策能力と高速処理を両立しました。

また、本機を導入の企業には、検知・防御した脅威やリスクの高いアプリケーションの利用状況などを、毎月メールでレポートするサービスも提供します。

テレワークの急速な普及や通信量の増加などを背景に、社内外のネットワーク上の脅威にさらされるリスクが増大する中、中小企業におけるセキュリティ対策の強化に貢献してまいります。

品名	シリーズ名	形名	希望小売価格	発売日
UTM (統合脅威管理)	BP-X1CP	V80 (ハイスピード/スタンダード)	オープン	2020年7月9日

### ■ 主な特長

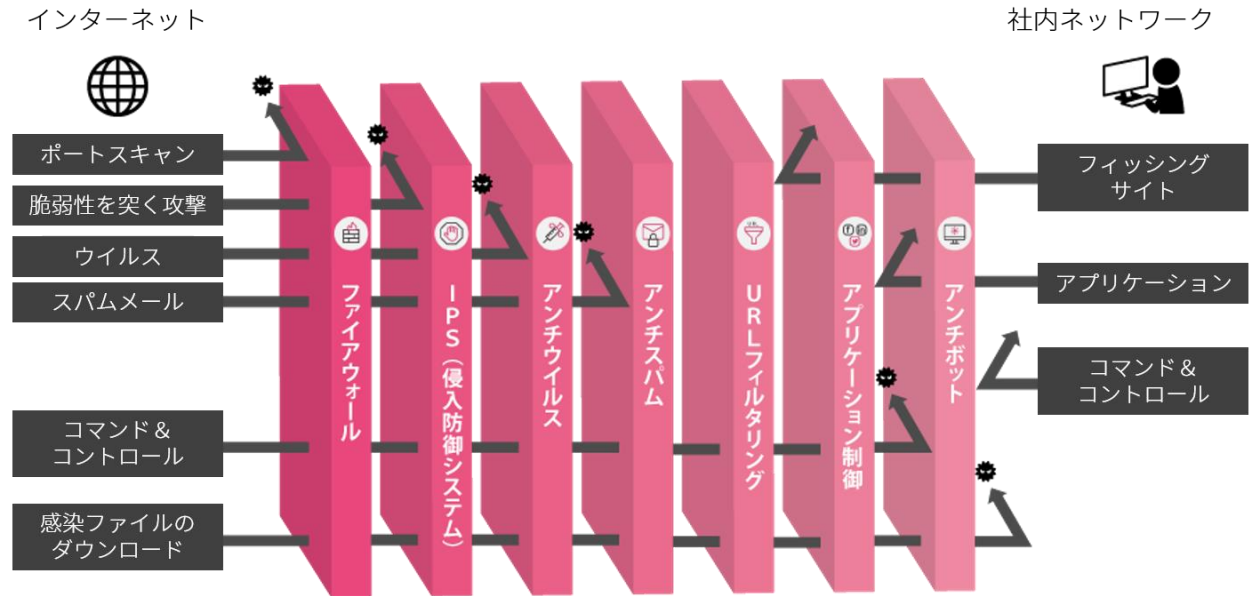
1. 7種類のセキュリティ対策機能を搭載し、導入から運用・管理までの一連業務を効率化
2. チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ社製の高性能エンジンを採用
3. 検知・防御した脅威やリスクの高いアプリケーションの利用状況レポートを毎月提供

※1 マルウェアの侵入や、不正アクセスによる攻撃。

※2 本社所在地：イスラエル、テルアビブ。CEO：Gil Shwed（ギル・シュエッド）。米調査会社ガートナー社の2018年度「Magic Quadrant for Unified Threat Management（SMB Multifunction Firewalls）」分野において、7年連続でリーダー・クアドラントに選出されています。

【 ホームページ 】 <https://corporate.jp.sharp/>（画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>）  
 【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地  
 【 お客様お問い合わせ先 】 シャープマーケティングジャパン(株) ビジネスソリューション社  
 新規事業統轄部 COCORO OFFICE推進部 e-mail: cocoro\_office\_info@sharp.co.jp

## ■ UTM<BP-X1CPシリーズ>によるセキュリティ対策イメージ



## ■ 主な仕様

品名	UTM (統合脅威管理)	
シリーズ名	BP-X1CP	
形名	V80 (ハイスピード)	V80 (スタンダード)
NGFWスループット	800Mbps	600Mbps
NGTX脅威対策スループット	450Mbps	340Mbps
ファイアウォールスループット	2,000Mbps	1,500Mbps
WAN	10/100/1000Base-T RJ-45ポート ×1	
LANスイッチ	10/100/1000Base-T RJ-45ポート ×5	
コンソールポート	USB-C ×1	
USBポート	USB 3.0 ×1	
寸法 (幅×奥行×高さ)	210 × 160 × 37.5 mm	
質量	約0.43kg	